

1. 日 時 平成29年1月27日(金) 15:00~16:00

2. 開催場所 市役所本庁舎2階 第4委員会室

3. 出席委員名(敬称略)

役職	氏名	出欠
会 長 (東北大学 教授)	永富 良一	○
副会長 (仙台大学 副学長)	仲野 隆士	×
委 員 (仙台市中学校体育連盟 会長)	伊藤 譲治	○
委 員 (仙台市スポーツ推進委員協議会 理事長)	大林 一信	○
委 員 (宮城教育大学 准教授)	神谷 拓	○
委 員 (仙台市レクリエーション協会 理事)	小林 彰	○
委 員 (仙台市体育協会 副理事長)	齋藤 明	○
委 員 (東北電力株式会社広報・地域交流部 副部長)	佐藤 信康	○
委 員 (仙台市小学校教育研究会体育研究部会常任委員)	佐藤 裕子	×
委 員 (仙台市議会議員)	鈴木 勇治	×
委 員 (東北福祉大学特任 准教授)	鈴木 玲子	○
委 員 (東北学院大学 教授)	高橋 信二	○
委 員 (東北生活文化大学 教授)	土井 豊	○
委 員 (仙台市障害者スポーツ協会 専務理事)	中嶋嘉津子	×
委 員 (仙台市学区民体育振興会連合会副会長)	堀江新一郎	○
委 員 (NPO 法人キューオーエル理事長)	横山 英子	×
委 員 (仙台市スポーツ少年団本部長)	吉田 尚	○

4. 説明に出席した者の職・氏名

スポーツ振興課長	文屋 健
スポーツ振興課企画係長	高橋昭太郎
スポーツ振興課主任	早坂 正宏
スポーツ振興課主事	星野 真弓

## 5. 会議の経過

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(事務局紹介：高橋係長)

(3) 議事及び報告事項の内容

議事進行役：永富会長

会議録署名委員の指名：高橋委員

事務局

(1) パブリックコメント等のスポーツ推進計画への反映について

昨年の12月20日から今月19日までの約1カ月間、市民からの意見聴取のため、パブリックコメントを実施いたしました。

また、その間、地域スポーツ団体やプロスポーツ球団へも意見照会を行うとともに意見交換の場を設け、様々なご意見を頂戴してまいりました。

その結果をまとめましたので、資料1をご覧ください。

(資料1について説明)

なお、意見の詳細につきましては、資料2にまとめておりますので、ご参照ください。

(資料2について説明)

永富会長

ただいまの報告について、ご質問ご意見等はございませんか。

永富会長

前回、H24の計画策定の際に実施したときは、もっと意見の件数が多かったように記憶しています。今回の件数が17件に留まったのは、周知方法にも課題があるように感じます。

他にございませんか。

[意見なし]

永富会長

では、続いて、審議事項に移ります。

「パブリックコメント等の計画への反映について」事務局より説明をお願いします。

事務局

パブリックコメント等での意見を踏まえ、事務局にて中間案の一部を見直しました。資料3としてお配りしておりますが、誤字や文言の修正も加え、修正箇所を下線で示しておりますので、ご確認ください。

(資料3について説明)

永富会長

ただいまの報告について、ご質問ご意見等はございませんか。

齋藤委員

計画の推進にあたり、各事業の予算が示されていないため、具体的な検討が難しいです。予算規模が分かれば、より具体的な提案もできると思います。

**事務局** この計画は、スポーツの推進を行っていく上での指針であり、この計画をもとに今後の事業の予算化をしていくこととなります。

計画の策定や見直しの際に、具体的な予算をお示しすることは難しいですが、参考にこれまでの実績や、また次年度の事業計画など可能な範囲でお示していきたいと思います。

**齋藤委員** もう1点ですが、施設整備について、区ごとに体育館やフィールドを万遍なく整備することも検討していただきたいです。

**事務局** 既存施設の長寿命化を課題にしている中で、なかなか新規整備は難しい現状にありますが、そういったご意見があることは、関連部局とも共有しておきたいと思います。

**永富会長** 先程の予算規模のお話ですが、予算を示すのは難しいと思うが、やはり、この計画、目標において、どういった事業をどれだけの予算をかけて行ったのか、これまでの実績だけでも定期的に示されると、今後この計画を推進していく上でよいかと思います。

**事務局** 費用も含めた事業の実績について、お示ししたいと思います。

**吉田委員** 市民からの意見等にもありますが、学校施設における体育施設の早期復旧をすすめていただきたいと思います。

**事務局** 学校施設担当にもそういったご意見を頂戴したことをお伝えします。

**神谷委員** 部活動支援についてですが、国においては、こういった部活動支援事業を強化する動きはなく、予算も現状を維持するにとどまるようです。市民からの意見にもあるように、指導者の質の向上も必要だと考えていますが、この計画においては、どこに組み込まれているのでしょうか。

**事務局** 本市としては、部活動に限らず、指導者の質の向上が必要であると考えております。それについては、資料3・8ページのささえるスポーツ中「スポーツ指導者の育成」に盛り込んでおります。

**永富会長** 部活動の例にあるように、少子化も合わさって、他の学校と合同チームを構成するなど、人数の不足によりチームスポーツを維持していくことにも課題がありますので、国の動向も見ながら、仙台市としてそれに対する対応の考え方を整理しておくとうよいと思います。

**土井委員** 先日サッカーゴールが倒れ、児童が死亡する事故がありました。学校だけに任せるとはならず、市としてこういったスポーツ活動における安全を確保していくことも重要だと考えます。

土井委員

施設だけでなく、設備も老朽化するので、安全性の確保といった危機管理に力を入れることが大切だと思います。

また、数値目標の設定についてですが、まずは目標を設定するにあたり、H28年度調査の結果を分析したのでしょうか。そういったことも含め、今回の目標数値の設定の根拠を明確にしておく必要があると思います。

高橋委員

そもそも、昨年5月に調査を実施するにあたり、前回H24年の時と仙台市の人口構成も変わっていると思いますが、そういった調整はされているのでしょうか。

前回との結果の差が大きいため、結果の分析においては、そのあたりも考慮して見る必要があると思います。

事務局

調査対象者は、年齢・性別・居住区ごとに均等に抽出しており、人口構成の変化等までは調整しておりません。

計画の中間案（資料3）においては、参考資料として、結果しかお示ししておりませんが、回答者の属性など、お示しの仕方の見直しを検討したいと思います。

永富会長

H28調査は、前回調査との比較のため、継続性の観点から調査方法を変えずに行いましたが、次回の調査においては、もっと原因の分析ができるような調査方法を検討できればいいのかもしれない。

加えて、3点意見を申し上げます。

まず、スポーツ活動を広げていくためには、広報手段の強化が必要だと思います。

近年、さまざまなソーシャルネットワークの普及に伴い、広報の戦略が大きく変わっています。市でも、今までの方法にとらわれない戦略を練っていくといいと思います。

また、安全性の確保についてですが、施設には利用上の注意事項は掲示してあっても、用具の使い方などの説明や注意事項の掲示が不足しているように感じます。安全性の確保のためにも、そういったところも見直していくとよいと思います。

最後に、地域のスポーツ団体についてですが、学区民体育振興会など多世代型の活動を行う団体は、組織の強化や改革などを考えていく必要があると思いますが、一方で、総合型地域スポーツクラブは、現在、スポーツ少年団など子ども向けクラブが多くを占めており、多世代型のクラブから変化している実感があります。学校を軸にしたクラブ運営など、社会の動向に合わせて、転換を図る必要があると思います。

永富会長

この他、ご意見、ご質問等はありませんでしょうか。

特にないようですので、以上で、本日の議事の一切を終了させていただき、事務局に進行を戻します。ご協力ありがとうございました。

(4) 閉会